

第5回若年者ものづくり競技大会(建築大工)に参加して

京都職業能力開発短期大学校
住居環境科2年 立山 功一郎



競技終了の直後。精一杯、課題と格闘した。

第5回若年者ものづくり競技大会を終えて、私はとてもいい経験をしました。大会の結果は残念ながら入賞することはできませんでしたが、大会中にさまざまな選手と競技し、とてもいい刺激を受けました。

優勝した選手はほとんどが高校生でした。とても精度の高い作品を作り上げていました。私との作品を比べてみても圧倒的に上手にできていました。とても悔しかったです。しかし、優勝した選手はそれだけの練習をし、努力してきた結果だと思います。ですから、そこから見習おうと思います。この大会を通して全国から集まった選手の技や全国大会の厳しさを自分の未熟さが改めて学びました。

最後に、この学校に入学していくつかある授業の中で、自分が夢中になれる授業に出逢い、全国大会に出場できるなどとは思っていませんでした。これも指導して下さった先生のおかげです。ありがとうございます。今回の大会は残念な結果で終わりましたが、この大会で得た技術、悔しさをバネに今後の大会や人生に活かしていきたいです。



大会前の下見



競技開始前の準備



完成した課題作品



材料の直角を確認中



墨付け(基準線や加工に必要な線を引く)



墨付けをもとに、ノミで加工中



墨付けをもとに、ノコで加工中



精一杯格闘したあとの素敵な笑顔

第5回若年者ものづくり競技大会ホームページ

<http://www.javada.or.jp/>

“大会の結果等についてご参照ください。”